

# 2021/03/06

---

出典:東北大(文類型)2013大問1

満点:20点 / 目標:15点

$a$  を実数とする.

1. 2 次方程式  $x^2 - 2(a+1)x + 3a = 0$  が,  $-1 \leq x \leq 3$  の範囲に 2 つの異なる実数解をもつような  $a$  の値の範囲を求めよ.
2.  $a$  が (1) で求めた範囲を動くとき, 放物線  $y = x^2 - 2(a+1)x + 3a$  の頂点の  $y$  座標がとりうる値の範囲を求めよ.

## 解答・解説 (2021/03/12)

解の存在範囲の問題です. 2021/10/30, 2021/01/30 に続き3度目の登場です. そろそろできてほしい. 東北大の過去問ですが, 非常に基本的だったのでそのまま出しました.

詳しいことは黄チャート例題94あたりに載ってますが,

- (判別式の値)  $> 0$
- 軸の位置
- 端点の座標の符号

の3つを必ず確認すること. それしかありません.

**数Iで応用とされていたものが, 数IIでは基礎になります. 必ずできるようにしてください.**

採点基準はこんな感じでシンプルです.

- (1) は15点
  - 判別式or頂点の座標の条件を求めていれば5点
  - 軸の位置の条件で5点
  - 端点の  $y$  座標の符号で5点
- (2) は5点
  - 簡単なので部分点なし

## 3/6 数研Ⅰ改

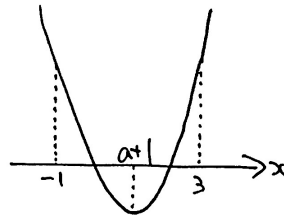
(1) 2次方程式  $x^2 - 2(a+1)x + 3a = 0$  ...① について

$$f(x) = x^2 - 2(a+1)x + 3a \quad \text{と置く.}$$

$$\text{平方完成して, } f(x) = (x - (a+1))^2 - a^2 + a - 1$$

①が  $-1 \leq x \leq 3$  の範囲に 異なる2つの実数解を持つ条件は,

$$\left\{ \begin{array}{ll} \text{①の判別式} > 0 & \dots \text{②} \\ -1 < a+1 < 3 & \dots \text{③} \\ f(-1) > 0 & \dots \text{④} \\ f(3) > 0 & \dots \text{⑤} \end{array} \right.$$



以上の ② ~ ⑤ が 全て成り立つことである.

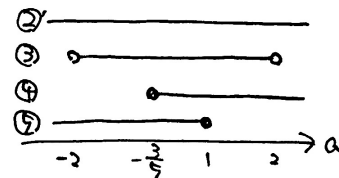
$$\text{①の判別式を } D \text{ とする. } D = 4(a+1)^2 - 4 \cdot 3a = 4(a^2 - a + 1)$$

 $D > 0$  に満足する  $a$  の値は  $a^2 - a + 1 > 0$  を解いて求めるが.

$$a^2 - a + 1 = (a - \frac{1}{2})^2 + \frac{3}{4} > 0 \quad \text{は常に成り立つ.} \quad \dots \text{②'}$$

③より  $-2 < a < 2$ , ④より  $a \geq -\frac{3}{5}$ , ⑤より  $a \leq 1$  が得られる.

②', ③, ④, ⑤ の共通範囲を求めよう.

条件をすべて満たす  $a$  の値の範囲は  $-\frac{3}{5} \leq a \leq 1$ .(2) 放物線  $y = f(x)$  の頂点の  $y$  座標は

$$y = -a^2 + a - 1 = -(a - \frac{1}{2})^2 - \frac{3}{4}$$

 $-\frac{3}{5} \leq a \leq 1$  の範囲で,  $a = \frac{1}{2}$  のとき最大値  $-\frac{3}{4}$ ,  $a = -\frac{3}{5}$  のとき最小値  $-\frac{49}{25}$  である.よって  $-a^2 + a - 1$  のとりうる値の範囲は

$$-\frac{49}{25} \leq -a^2 + a - 1 \leq -\frac{3}{4} \quad \text{である.}$$

